

平成 14 年度 冬期の「踏切事故^{ゼロ} 0 運動」の展開について

平成 14 年 12 月 19 日

- 踏切事故の原因の多くを占める、ドライバーの危険な無謀横断防止に焦点をあてたキャンペーンを行います。
- ドライバーの方に訴求するために、社会への影響力が大きいテレビ、ラジオ、新聞、交通広告による展開を行います。
- 「踏切事故 0 運動」は平成 3 年から継続しています。

1 実施期間・エリア

- 帰省や旅行などで、交通量が多くなる年末年始の時期に合わせて「平成 14 年 12 月 20 日（金）から平成 15 年 1 月 19 日（日）まで」の期間で実施します。
- JR 東日本管内全エリアで実施します。

2 具体的な展開方法

当社における昨年度の踏切事故は 56 件発生し、その多くが、警報機が鳴り出してから直前横断による事故です。そこで、ドライバーを中心に踏切通行者に対し迷惑横断の防止と、交通ルールの遵守を呼びかけます。さらに、雪などの多い箇所においては、スリップ・脱輪等の注意喚起もあわせて行ないます。

3 その他

- 交通広告（駅ポスター・車内吊りポスター・配布用パンフレット）は図柄を二種類用意します。首都圏ではサッカーの審判をモチーフに交通ルールの厳守を、また、首都圏以外では、スリップ等雪の影響による踏切通行時の注意喚起をドライバーに訴えたポスターを掲出いたします。
- ポスターについては、関係各運輸局及び警視庁、関係各県警察本部の後援を得て掲出いたします。